



## オーケストラがやってきた!



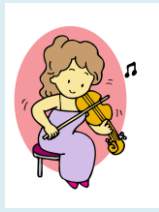
10月3日(火)は、大阪から日本センチュリー交響楽団をお招きしての芸術鑑賞の日でした。

朝早くから、たくさんの楽器が体育館へ積み込まれ、総勢60名余りの団員さんとスタッフの方が準備をされました。

3校時、いよいよ芸術鑑賞のスタートです。芸術鑑賞の目的は「ほんもの体験」、「目で・耳で・心で聴く」ことが目標です。

### 《プログラム》

- ①歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲
- ②校歌の合唱
- ③楽器紹介
- ④踊る子猫
- ⑤指揮者体験「ハンガリー舞曲第5番」
- ⑥ピリーブの合唱
- ⑦Clip beat Clap
- ⑧交響曲第5番「運命」より  
第1楽章
- ⑨アンコール



体育館に集合した子供たちは、たくさんの楽器をもったオーケストラの方たちを見て、ちょっとびっくり。いつもの体育館が立派なコンサートホールになりました。

いきなりカルメンの演奏が始まりました。オーケストラの迫力ある演奏に、目を丸くする子供あり、聴きほれる子供あり、指揮者気分を手を動かす子供ありでした。

次は、呉中央学園の校歌の合唱です。オーケストラをバックに校歌を歌う子供たちはちょっぴり誇らしそう。いつにもまして、上手に歌うことができました。

楽器紹介では、いろいろな楽器を紹介してもらいました。中には、トランペット鼓隊で使っている楽器もありました。

休憩の後は指揮者体験です。6年生代表の古田さんが、ハンガリー舞曲の指揮に挑戦しました。60名の団員さんの視線が古田さんの指揮棒に集まります。「タイミングをずっと同じにするのが難しかった。」指揮を終えての古田さんの感想です。指揮者の栗辻さんからは、子供たちの聴く態度がよかったことをほめていただきました。のりのいい子供たちのおかげで、演奏しやすかったそうです。「トランペット鼓隊という学校文化が子供たちの中に息づいているからこそ素晴らしいムードができるんですね。」とも言われていました。会場スペースの関係で保護者の方にご案内できなかったのが残念ですが、子供たちは、学習発表会に向けて、よーし!という気持ちになってくれたのではないかと思います。



オーケストラの皆さん



楽器紹介



指揮者体験



指揮者気分の人も!

《後日談》  
 コントラバスの池田さんがツイートしてくれていました!  
 「呉中央小学校の校歌すばらしかった。いい曲すぎて、  
 弾きながら泣きそうになった」  
 子供たちの歌声あってこそですね!